

■勝島王冠(SⅢ)アラカルト(過去7年の分析)

※平成 21 年より準重賞・勝島賞から重賞に昇格

※優勝馬には東京大賞典への優先出走権が付与される

※記録は 11 月 10 日時点のもの

■21頭中(3着内馬)10頭が重賞勝ち馬

- ◇第 1 回 1 着セレン ←京成盃グランドマイラーズ優勝
 - 2 着マズルブラスト ←大井記念、東京記念優勝
 - 3 着ヴァイタルシーズ ←鎌倉記念、ハイセイコー記念優勝
- ◇第 2 回 2 着ボンネビルレコード ←帝王賞、黒潮盃など重賞 7 勝
 - 3 着サイレントスタメン ←東京ダービー、クラウンカップ優勝
- ◇第 3 回 2 着ツルオカオウジ ←黒潮盃優勝
 - 3 着カキツバタロイヤル ←サンタアニタトロフィー2 勝
- ◇第 4 回 2 着カキツバタロイヤル ←サンタアニタトロフィー2 勝、川崎マイラーズ優勝
- ◇第 5 回 1 着ガンマーバースト ←埼玉新聞栄冠賞優勝
- ◇第 7 回 3 着アウトジェネラル ←羽田盃、金盃優勝

■穴馬が好走も

- ◇第 1 回 3 着ヴァイタルシーズ(11 番人気)←鎌倉記念、ハイセイコー記念優勝
- ◇第 2 回 1 着スーパーパワー(10 番人気)←初重賞出走・初制覇
 - 3 着サイレントスタメン(13 番人気)←東京ダービー、クラウンカップ優勝
- ◇第 4 回 3 着フォーティファイド(7 番人気)←JRA から移籍後 3 着内率 100%
- ◇第 5 回 3 着カリバーン(11 番人気)←JRAからの移籍初戦、芝OP勝ちあり
- ◇第 6 回 1 着ハブアストロール(11 番人気)←JRA 時代も含め全 3 勝とも 1800m
 - 2 着カリバーン(6 番人気)←前年の 3 着馬
 - 3 着トーセンヤツテキタ(7 番人気)←前 2 走 1800mで 2 着、1 着

■TCKコースの適性

※TCK所属馬はもちろん、他所属馬も含め 3 着内馬 21 頭中 17 頭がTCKコースでの勝利があった。

※例外 4 頭は、第 4 回 3 着フォーティファイド、第 5 回 1 着ガンマーバースト、3 着カリバーン、
第 6 回 2 着カリバーン

■1番人気馬の3着内率は71%

- ◇1 番人気馬 3 勝、2 着 1 回、3 着 1 回。3 着内率 71.4%
- ◇2 番人気馬 1 勝、2 着 1 回、3 着 0 回。3 着内率 28.6%
- ◇3 番人気馬 1 勝、2 着 3 回、3 着 0 回。3 着内率 57.1%

■前2走いずれかで掲示板確保(5着)が望ましい

※連対馬 14 頭中すべてが前 2 走いずれかで 5 着以内を確保。

※3 着内 21 頭のうち 18 頭がこの条件をクリア。

※例外は、第 2 回 3 着サイレントスタメン、第 5 回 3 着カリバーン、
第 7 回 3 着アウトジェネラルの 3 頭

■4歳馬が3勝

◇3 歳馬 1 勝、2 着 0 回、3 着 0 回。3 着内率 4.8%

◇4 歳馬 3 勝、2 着 1 回、3 着 2 回。3 着内率 28.6%

◇5 歳馬 1 勝、2 着 0 回、3 着 2 回。3 着内率 14.3%

◇6 歳馬 2 勝、2 着 2 回、3 着 1 回。3 着内率 23.8%

◇7 歳馬 0 勝、2 着 3 回、3 着 2 回。3 着内率 23.8%

◇8 歳馬 0 勝、2 着 1 回、3 着 0 回。3 着内率 4.8%

■苦戦傾向にある3歳馬

※実績を残していた 3 歳馬の苦戦が目立つ。

◇第 1 回ブルーヒーロー(4 番人気・黒潮盃 2 着、東京ダービー 2 着)→9 着

◇第 1 回サイレントスタメン(6 番人気・東京ダービー優勝)→10 着

◇第 2 回ツルオカオウジ(2 番人気・黒潮盃優勝)→10 着

◇第 4 回アートサハラ(4 番人気・羽田盃優勝)→16 着

◇第 5 回ソルテ(3 番人気・ハイセイコー記念、ニューイヤーカップ優勝)→6 着

◇第 6 回ハッピーズプリント(1 番人気・羽田盃・東京ダービー優勝)→5 着

※第 3 回、第 7 回は 3 歳馬の出走なし。

※第 4 回は 3 歳馬プーラヴィーダが優勝(重賞勝ちはないが東京ダービー 2 着などの実績があった)。

■TCK所属馬が5勝

◇TCK所属馬 5 勝、2 着 3 回、3 着 3 回。3 着内率 52.4%

◇船橋所属馬 2 勝、2 着 3 回、3 着 1 回。3 着内率 28.6%

◇川崎所属馬 0 勝、2 着 0 回、3 着 2 回。3 着内率 9.5%

◇浦和所属馬 0 勝、2 着 1 回、3 着 1 回。3 着内率 9.5%

※第 1 回、第 5 回は船橋所属馬のワンツー・フィニッシュ。

※第 2 回、第 3 回、第 6 回はTCK所属馬のワンツー・フィニッシュ。

■牝馬の挑戦は少ない

※第 2 回ラインジュエル(12 着)のみ。

■外国産馬の出走なし

※過去 7 年では外国産馬の出走はない。

※前身の準重賞・勝島賞(平成 14 年～22 年)ではロッキーアピール(平成 15 年)が優勝。

■東京大賞典との関連性

※優勝馬には東京大賞典への優先出走権が与えられている。

- ◇第1回優勝セレン →東京大賞典4着
- ◇第2回優勝スーパーパワー →東京大賞典6着
- ◇第3回優勝スマートインパルス →東京大賞典8着
- ◇第4回優勝プーラヴィーダ →不出走
- ◇第5回優勝ガンマーバースト →不出走
- ◇第6回優勝ハブアストロール →東京大賞典13着
- ◇第7回優勝ムサシキングオー →不出走

■3着内馬の全21頭中11頭が⑩番枠より外

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0
2着	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
3着	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1

参考データ

※準重賞時(勝島賞 平成18~20年)を含む、過去10年の傾向

■4歳馬が3勝でリード

- ◇3歳馬 1勝、2着2回、3着2回。3着内率16.7%
- ◇4歳馬 4勝、2着2回、3着2回。3着内率26.7%
- ◇5歳馬 1勝、2着0回、3着3回。3着内率13.3%
- ◇6歳馬 2勝、2着2回、3着1回。3着内率16.7%
- ◇7歳馬 1勝、2着3回、3着2回。3着内率20.0%
- ◇8歳馬 1勝、2着1回、3着0回。3着内率6.7%

■TCK所属馬が圧倒

- ◇TCK所属馬 8勝、2着4回、3着6回。3着内率60.0%
- ◇船橋所属馬 2勝、2着4回、3着1回。3着内率23.3%
- ◇川崎所属馬 0勝、2着1回、3着2回。3着内率10.0%
- ◇浦和所属馬 0勝、2着1回、3着1回。3着内率6.7%

■2番人気馬の3着内率が20%と不振

- ◇1番人気馬 4勝、2着1回、3着2回。3着内率70.0%
- ◇2番人気馬 1勝、2着1回、3着0回。3着内率20.0%
- ◇3番人気馬 2勝、2着3回、3着1回。3着内率60.0%